

令和5年度

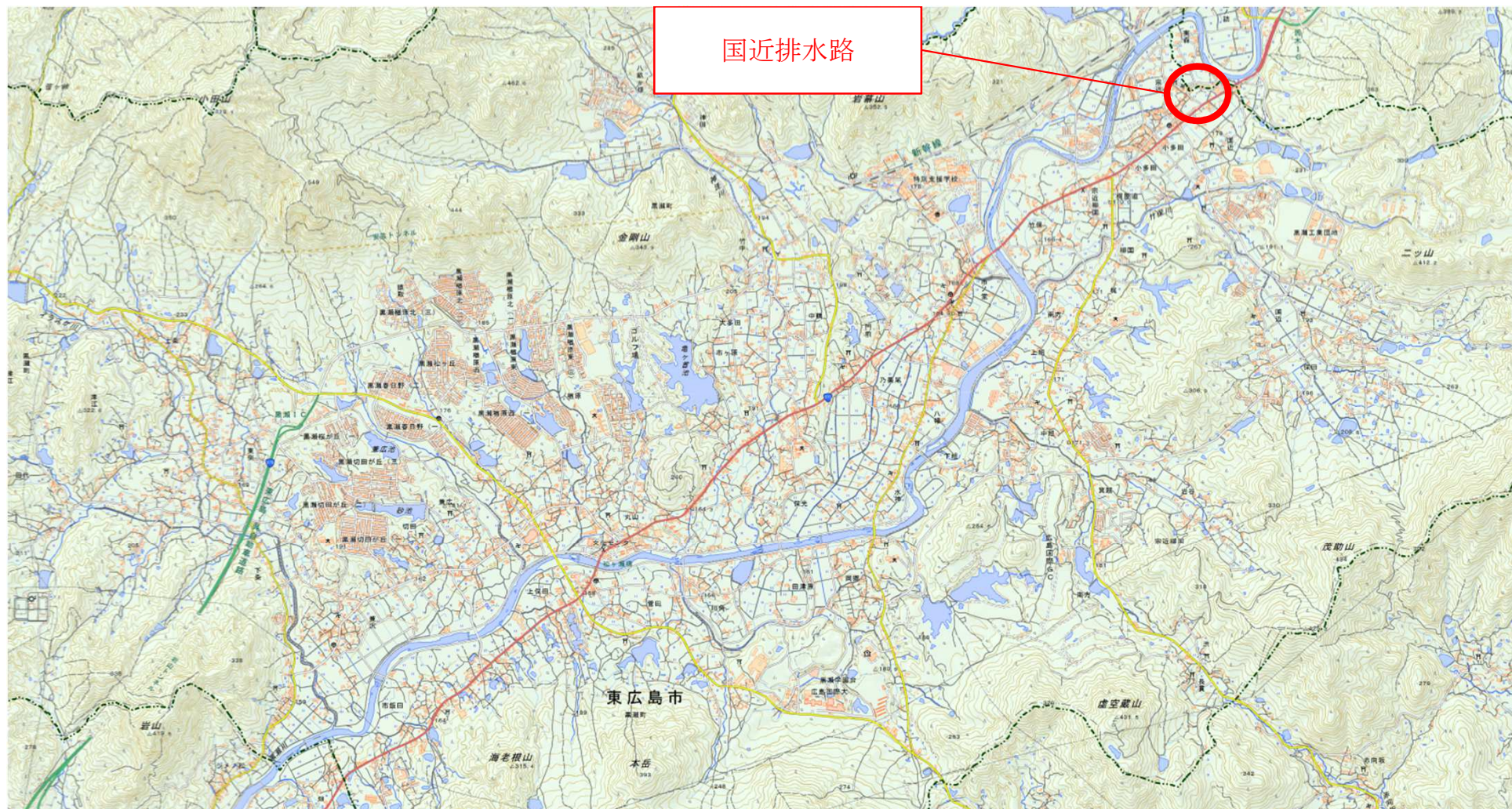
河川維持修繕事業

国近排水路修繕工事

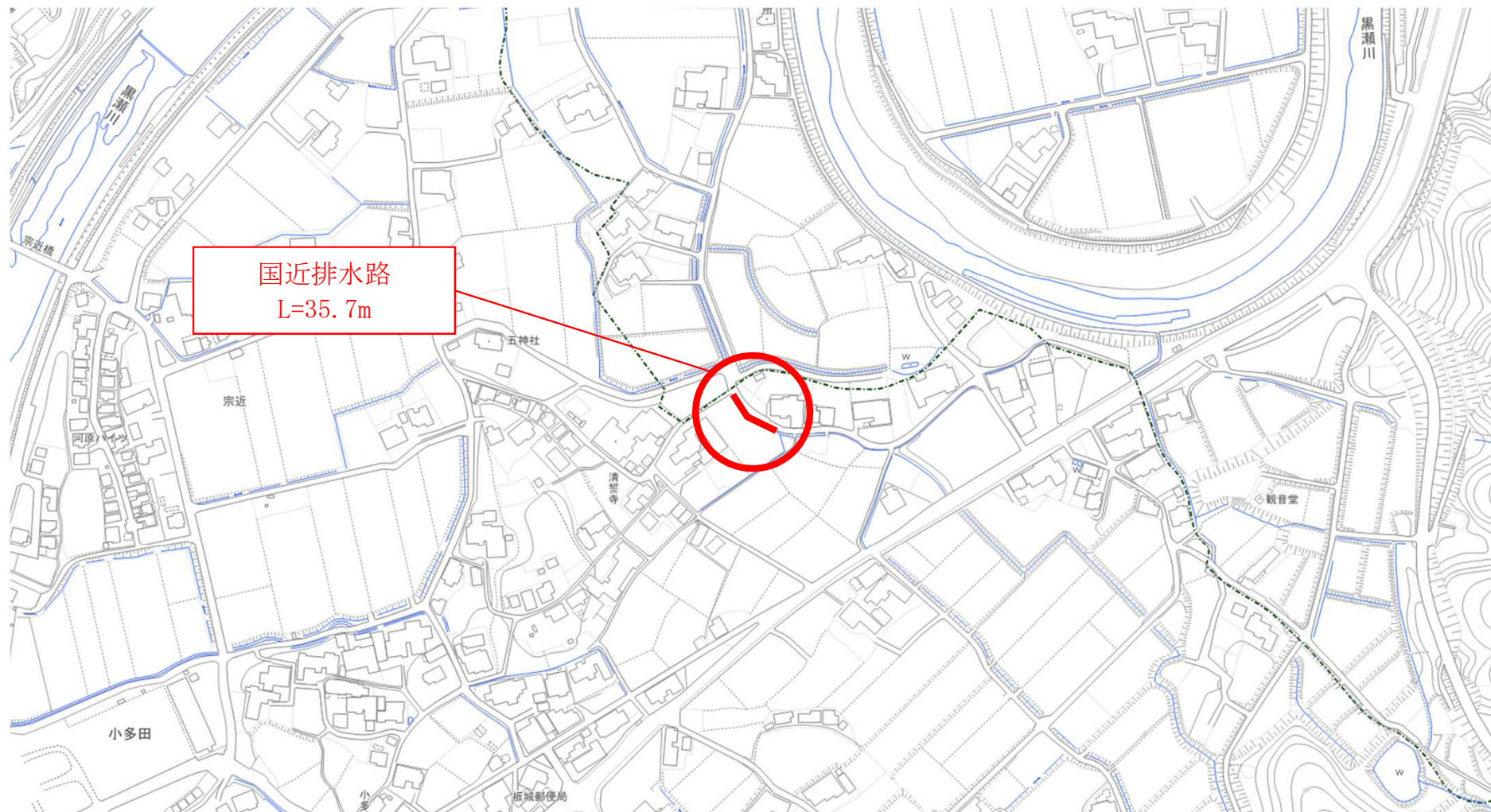
仕様書

施 工 場 所 東広島市黒瀬町国近

全体位置図



位置図 (詳細図)



特記仕様書（国近排水路修繕工事）

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の常駐義務の緩和
4. 現場代理人の兼務
5. 現場作業終期日
6. 履行報告
7. 官公庁等への手続き等
8. 工事中情報共有システム
9. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
10. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
11. 法定外の労災保険の付保
12. 週休2日モデル工事の試行
13. 建設副産物の取り扱いについて

第2章 施工条件

1. 安全対策
2. 盛土・埋戻土
3. 建設副産物

第3章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、広島版「土木工事共通仕様書(令和4年8月)」に基づいて実施しなければならない。

この場合においては、次のとおりとする。

「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。(ただし、第1編第1章第1節1-1-1-24第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11、1-1-2-14第2項、1-1-2-16、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-2第2項においては読み替えない。)

「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。

「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。

「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。

「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。

その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	1	13	調査・試験に対する協力	5	適用しない。
1	1	2	5	工事の下請負		適用しない。
1	1	2	7	調査・試験に対する協力	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	2	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5	適用しない。
1	1	3	3	下請負及び契約の制限		適用しない。
1	1	3	4	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	5	暴力団等からの不当要求又は工事妨害の排除		適用しない。
1	1	3	6	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	8	県産木材の活用		適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	工程表		適用しない。
3	1	2	4	電子成果品及び紙の成果品		適用しない。
3	1	2	5	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・ 建設工事請負代金前金払実施要領
- ・ 建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・ 東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の常駐義務の緩和

監督職員と携帯電話等で常に連絡がとれることに加え、次に掲げるいずれかの事由に該当する場合には、建設工事請負契約約款第10条第3項に規定する「現場代理人の工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がなく、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合」として取扱う。

請負金額が4,000万円(建築一式工事にあつては、8,000万円)未満(ただし、入札公告において技術者を施工現場に専任で配置するとしたものは該当しないものとする。)

契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
建設工事請負契約約款第20条第1項又は第2項の規定により、工事の全部の施工を一時中止している期間

橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であつて、工場製作のみが行われている期間

前3号に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間

その他、特に発注者が認めた期間

4. 現場代理人の兼務

- 1 受注者は、前項(1)に該当することにより現場代理人の工事現場への常駐を要しないこととされた場合であつて、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、現場代理人兼務申請書(様式第1号)に必要な書類を添付して、他の東広島市・広島県水道広域連合企業団・広島県発注の工事の現場における現場代理人又は技術者等との兼務を発注者に申請することができる。ただし、一円の地域を対象とする工事(工事場所を「一円」とする工事)を除く。

兼務する工事が東広島市・広島県水道広域連合企業団・広島県のいずれかの発注であること
兼務する工事件数が本件工事を含めて5件(災害復旧工事に係る件数を除く。)以内であること

兼務する全ての工事現場が同一町内()であること。ただし、兼務する工事現場が同一町内を越えるときは、全ての工事現場間が直線距離で5km以内であること

兼務する工事が広島県水道広域連合企業団又は広島県発注工事である場合は、当該工事の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること

監督職員の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること

なお、(4)に掲げる書類については、兼務を予定する工事の発注者の承認手続に時間を要するなど、やむを得ない事情があると認められる場合には、申請後の提出も認めるものとするが、兼務する工事の発注者の承認後、速やかに兼務を承認したことを証する書面の写しを提出すること。

また、兼務の申請先が同一の発注者である場合には、兼務を希望するいずれかの工事について、申請を行えば足りるものとする。

- 2 受注者は、前項に掲げるほか、工事箇所が10km以内で密接な関係のある他の公共工事(建設業法施行令(昭和31年政令第273号)第27条第2項が適用される工事として、同一の専任の主任技術者による工事の管理が認められるものに限る。)において現場代理人又は主任技術者として配置

されている期間であって、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、別記様式第1号に必要な書類を添付して、他の公共工事の現場における現場代理人又は技術者等との兼務を発注者に申請することができる。

兼務する工事件数が本件工事を含め2件以内であること

兼務する工事個所が東広島市内であること

兼務する工事が同一の発注者によるものでない場合は、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること

監督職員の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること

なお、(3)に掲げる書類については、兼務を予定する工事の発注者の承認手続に時間を要するなど、やむを得ない事情があると認められる場合には、申請後の提出も認めるものとするが、兼務する工事の発注者の承認後、速やかに兼務を承認したことを証する書面の写しを提出すること。

また、兼務の申請先が同一の発注者である場合には、兼務を希望するいずれかの工事について、申請を行えば足りるものとする。

3 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書(様式第2号)により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書(様式第3号)に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。

4 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書(様式第4号)により、その承認を取消すものとする。

兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき

兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を含める条例(平成元年東広島市条例第6号)第1条第1項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき

兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき

兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき

著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき

その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき

5 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあっては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあっては平成17年2月7日前の町の区域とする。

5. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、現場作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに広島版「土木工事共通仕様書(令和4年8月)」第1編1-1-1-21第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

6. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

7. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

8. 工事中情報共有システム

- (1) 工事中情報共有システムの利用は受注者の任意である。
- (2) 受注者が工事中情報共有システムの利用を希望する場合、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。
広島県工事中情報共有システム(一般社団法人 広島県土木協会)
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。
この場合においては、次のとおりとする。
 - 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定(広島県)」および「土木工事監督実施要領(広島県)」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定(広島県)」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準(広島県)」とあるのは「土木工事検査技術基準(東広島市)」と読み替えるものとする。
 - 2) 「CAD製図基準(国土交通省)」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン(国土交通省)」は適用しない。
 - 3) 「4.検査」は適用しない。
 - 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
 - 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

9. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間(12月29日~1月3日)、夏季休暇3日間(国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。)、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。)期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数(WBGT)が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数(WBGT)を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間(計測開始日、計測終了予定日)を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
 - 1) 補正方法
ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正值を算出し現場管理費率に加算す

る。なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正值を合計し、2%を上限とする。

イ 真夏日率 = 工期期間中の真夏日 ÷ 工期

ウ 補正值 (%) = 真夏日率 × 1.2

2) 補正值の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。

(8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。

(9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

10. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」を参照してください。

11. 法定外の労災保険の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

12. 週休2日モデル工事の試行

本工事は、東広島市週休2日モデル工事等試行要領(以下、「要領」という。)に基づく週休2日モデル工事(受注者希望型)の試行対象工事である。

(対象期間)

対象期間は、工事着手する日(準備期間は含まない)から工事完了日(後片付け期間は含まない)までとし、次の期間は対象期間から除く。

1) 年未年始6日間及び夏季休暇3日間

2) 工場製作のみが行われている期間

3) 災害時の緊急対応等、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間

(用語の定義)

1) 本特記仕様書における「週休2日」とは、対象期間において、4週8休(対象期間の28分の8の日数のこと。)以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

2) 「現場閉所」とは、巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含め、1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

3) 「受注者希望型」とは、受注者が工事着手前に発注者に対して週休2日に取り組む旨を協議したうえで取り組む方式。

なお、一つの工事現場で複数の工事が分離発注される場合は、全ての工事について同一の方式を選択する。

(実施方法)

1) 受注者は、週休2日モデル工事を実施する場合、契約後速やかに工事打合せ簿により発注者へ申し出るものとする。

- 2) 受注者は、工事着手までに週休2日取得が確認できる様式1「休日取得計画表（以下「計画表」という。）」を発注者に提出するものとし、対象期間を明確にするため、工事着手する日と工事完了日を計画表に明記するものとする。
なお、品質管理・安全管理等のために継続して行わなければならない作業や工程上の都合等やむを得ない場合は、工事着手後であっても週休日を変更することができるものとし雨天時等で現場閉所する場合においても、週休日とすることができる。
- 3) 受注者は、「週休2日モデル工事」である旨を看板等に記載し、工事現場に設置するものとする。また、発注者は、看板設置等に必要な費用について、現場環境改善費として計上するものとする。
- 4) 受注者は、計画表に休日の取得状況を記入し、休日の取得状況が確認できる書類（工事日誌や出勤簿等）とともに、毎月7日までに監督職員に提出するものとする。
- 5) 受注者は、工事完了後、計画表に休日の取得状況を記入し、休日の取得状況が確認できる書類とともに提出するものとする。
- 6) 週休2日を理由とする工期延長については認めないものとする。
- 7) 受注者は、週休2日を達成できなくなった場合は、速やかにその理由を打合せ簿等で発注者に提出するものとする。

（経費の補正）

週休2日モデル工事に取り組んだ工事については、現場閉所状況に応じて、要領に基づき費用を計上するものとする。

（アンケート調査等）

発注者が週休2日モデル工事に関するアンケート等を実施する場合は、受注者はこれに協力しなければならない。

（その他）

特記仕様書に記載の外は、要領に準じる

13. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-1-19 建設副産物「4. 再生資源利用計画」、「5. 再生資源利用促進計画」及び「6. 実施書の提出」によらず、次のとおり取り扱う。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

<https://www.mlit.go.>

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
 - (1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
 - (2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに

当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

第2章 施工条件

1. 安全対策

交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から10人を見込んでいる。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

2. 盛土・埋戻土

流用土(工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、41m³(地山土量)については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

3. 建設副産物

コンクリート殻（無筋）(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻（無筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は2.0kmを見込んでいる。

建設発生土(搬出)（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)）

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載

れている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

【砂・砂質土・礫質土】

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離
（名称）黒瀬資源再利用センター株式会社
（所在地）東広島市黒瀬町大多田302-52
（運搬距離）7.9 k m

【粘性土】

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離
（名称）有限会社トラスト残土処分場
（所在地）竹原市仁賀町11559
（運搬距離）12.8 k m

第3章 その他

1. 工事関係書類

工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編- によるものとする。

工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当たっては、広島県制定「写真管理基準(令和4年8月)」によるものとし、工事写真の提出部数は、工事写真帳を1部提出する。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。



工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
道路改良		式	1	レベル1
道路土工		式	1	レベル2
掘削工		式	1	レベル3
掘削	粘性土 標準以外	m3	20	レベル4
残土処理工		式	1	レベル3
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 砂質土	m3	20	レベル4
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 粘性土	m3	10	レベル4
残土等処分	砂・砂質土・礫質土	m3	20	レベル4
残土等処分	粘性土	m3	10	レベル4
擁壁工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
床掘り	土砂	式	1	レベル4
埋戻し	土砂	式	1	レベル4
場所打擁壁工	W3-S-15-C-1	式	1	レベル3
基礎材	t=15cm RC-40	m2	28	レベル4
コンクリート	18-8-40BB 一般養生	m3	18	レベル4
型枠	一般型枠	m2	100	レベル4

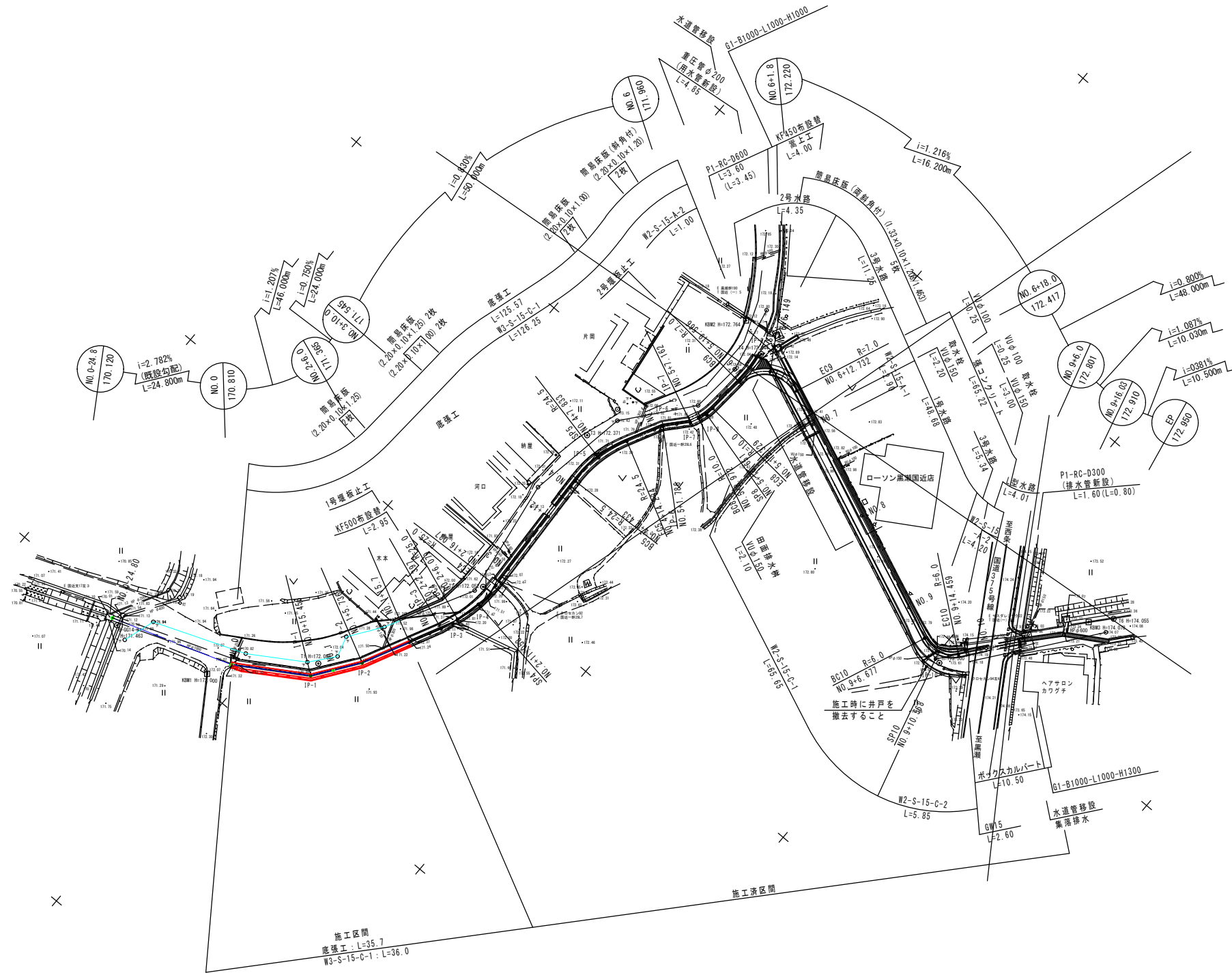
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
止水板	センターバルブ型フラット 200*5mm	m	4	レベル4
排水構造物工		式	1	レベル2
場所打水路工		式	1	レベル3
現場打水路（底張工）	無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB	m	36	レベル4
止水板	センターバルブ型フラット 200*5mm	m	2	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
構造物取壊し工		式	1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	無筋構造物,機械施工	m3	15	レベル4
コンクリート切断	コンクリート,厚15cm以下	m	36	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	Co(無筋)構造物とりこわし	m3	15	レベル4
殻処分	Co(無筋)構造物とりこわし	t	35	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	10	レベル4
水替工		式	1	レベル3
ポンプ設置・撤去		式	1	レベル4
ポンプ運転		式	1	レベル4

計画平面図

	集落排水
	水道

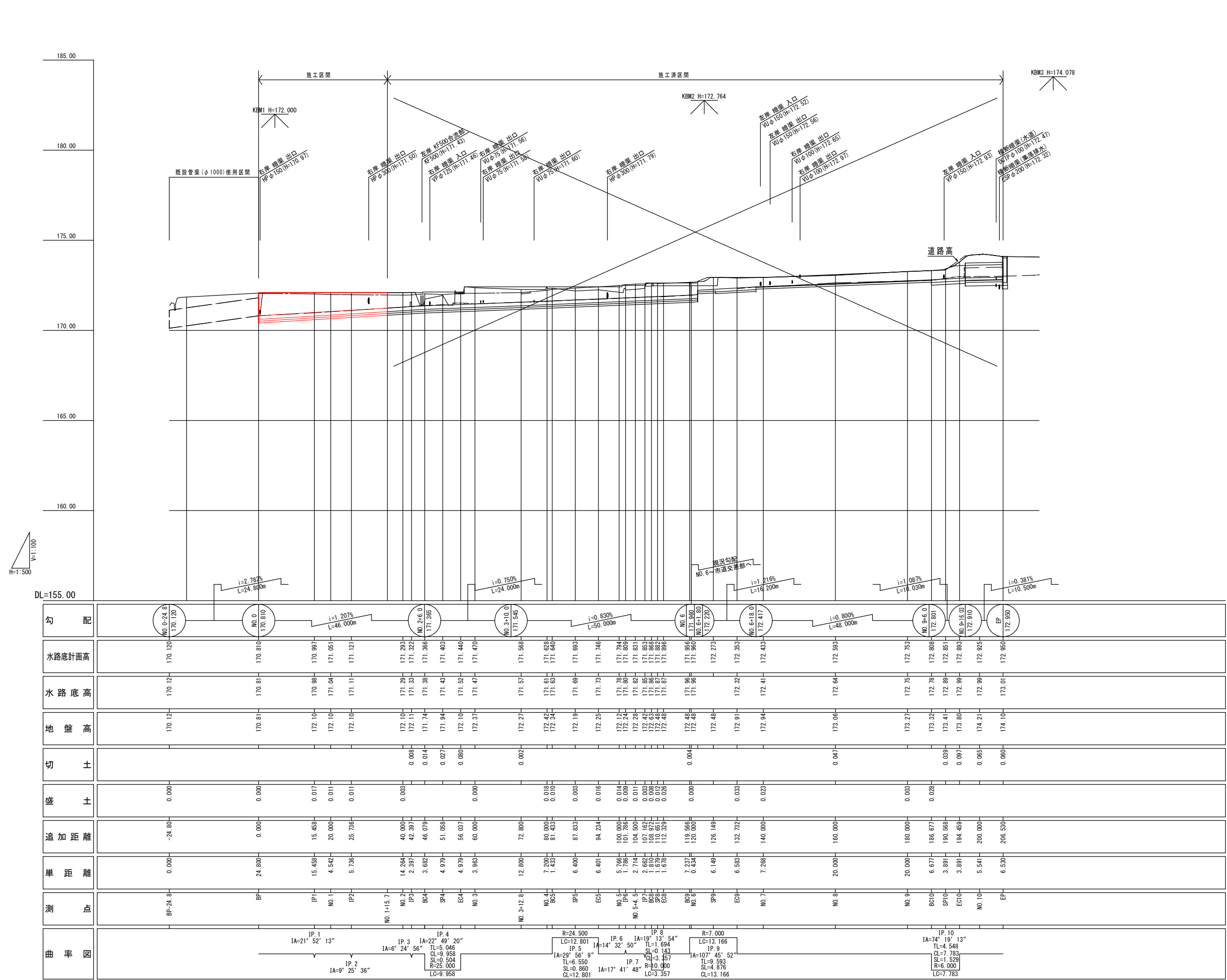
縮尺=1:500



* 各現場への進入路は設計時には計画していません。
 施工時に地元協議の上、検討して下さい
 * 水道管および集落排水が近接すると思われる箇所については担当部署との協議や試掘調査等を行って下さい

図面番号	1/8	縮尺	1:500
工種	河川維持修繕事業		
種別	平面図	番号	1/1
路線名	国近排水路		
工事箇所	東広島市黒瀬町国近		
東広島市			

凡例	
——	現況地盤高
——	現況水路底高
——	現況道路高



勾配	NO.0-24.8 170.120	NO.0 170.810	i=1.207% L=46.000m		NO.2-6.0 171.365	NO.3+10.0 171.545	i=0.830% L=50.000m		NO.6 171.950 172.220	NO.6+18.0 172.417	i=0.800% L=48.000m		NO.9+6.0 172.800	NO.9+16.03 172.910	EP 172.950																					
水路底計画高	170.120	170.810	170.997	171.051	171.121	171.293	171.322	171.386	171.403	171.440	171.470	171.568	171.628	171.640	171.693	171.746	171.794	171.809	171.833	171.853	171.865	171.882	171.896	171.956	171.966	172.273	172.353	172.433	172.593	172.753	172.806	172.851	172.893	172.925	172.950	
水路底高	170.12	170.81	170.98	171.04	171.11	171.29	171.33	171.38	171.43	171.52	171.47	171.57	171.61	171.63	171.69	171.73	171.78	171.80	171.83	171.85	171.86	171.87	171.88	171.89	171.96	171.96	172.32	172.41	172.64	172.75	172.78	172.89	172.99	172.99	172.99	173.01
地盤高	170.12	170.81	172.10	172.10	172.10	172.10	172.11	171.74	171.94	172.10	172.37	172.27	172.42	172.34	172.19	172.25	172.12	172.24	172.28	172.42	172.53	172.48	172.48	172.48	172.48	172.48	172.48	172.91	172.94	173.06	173.27	173.32	173.41	173.80	174.21	174.10
切土						0.008	0.014	0.027	0.080			0.002													0.004					0.047			0.039	0.097	0.065	0.060
盛土	0.000	0.000	0.017	0.011	0.011	0.003							0.018	0.010	0.003	0.016	0.014	0.009	0.011	0.003	0.008	0.012	0.026	0.000		0.033	0.023			0.003	0.028					
追加距離	-24.80	0.000	15.455	20.000	25.726	40.000	42.397	46.070	51.055	56.037	60.000	72.800	80.000	81.433	87.833	94.234	100.000	101.786	104.500	107.162	108.972	110.651	112.329	119.556	120.000	126.149	132.725	140.000	160.000	180.000	186.677	190.566	194.455	200.000	206.530	
単距離	0.000	24.800	15.458	4.542	5.726	14.264	2.397	3.682	4.979	4.979	3.963	12.800	7.200	1.433	6.400	6.401	5.766	1.786	2.714	2.682	1.810	1.679	1.678	7.227	0.424	6.149	6.583	7.288	20.000	20.000	6.677	3.891	3.891	5.541	6.530	
測点	BP-24.8	BP	IP1	NO.	IP2	NO.1+15.7	NO.2	IP3	BC4	SP4	EC4	NO.3	NO.3+12.8	NO.4	BC5	SP5	EC5	NO.5	IP6	NO.5+4.5	IP7	BC6	SP6	EC6	NO.6	NO.6	SP7	EC7	NO.7	NO.8	NO.9	BC10	SP10	EC10	NO.10	EP
曲率図	<p>IP.1 IA=21° 52' 13"</p> <p>IP.2 IA=9° 25' 36"</p> <p>IP.3 IA=6° 24' 56"</p> <p>IP.4 IA=22° 49' 20"</p> <p>IP.5 IA=14° 32' 50"</p> <p>IP.6 IA=19° 13' 54"</p> <p>IP.7 IA=17° 41' 48"</p> <p>IP.8 IA=19° 13' 54"</p> <p>IP.9 IA=74° 19' 13"</p> <p>IP.10 IA=74° 19' 13"</p> <p>R=24,500 LC=12,801 IA=29° 56' 9" TL=6,550 SI=0.360 CL=12,801</p> <p>R=7,000 LC=13,166 IA=107° 45' 52" TL=4,548 SI=1.528 CL=7,783</p>																																			

図面番号	2/8	縮尺	縦横 1:100
工種	河川維持修繕事業		
種別	縦断図	番	1/1
路線名	国近排水路		
工事箇所	東広島市黒瀬町国近		
東広島市			

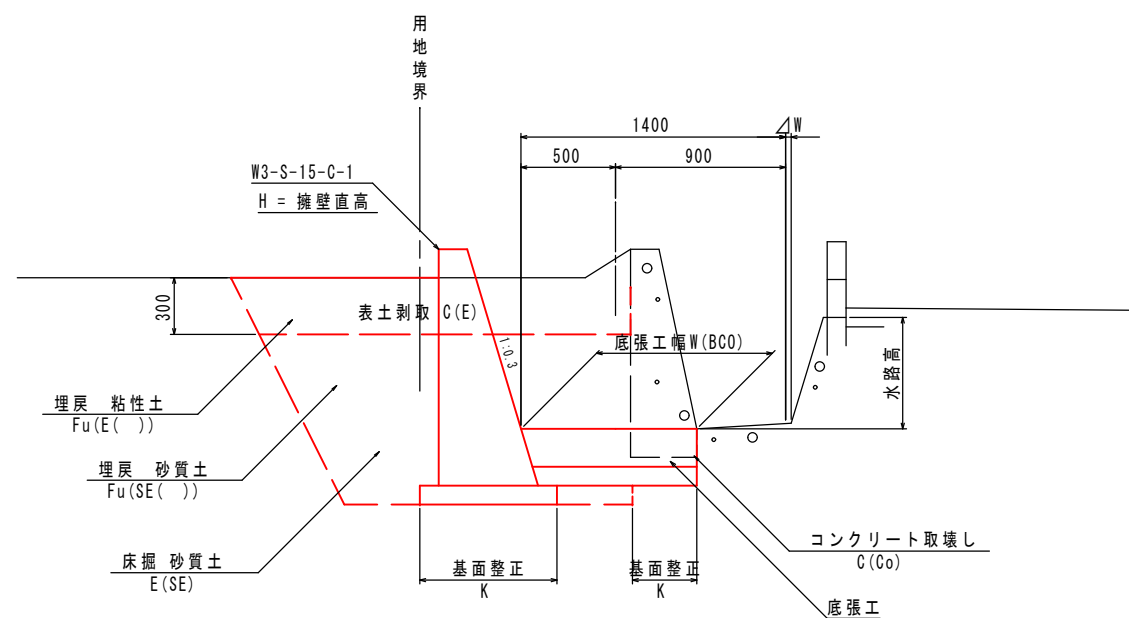
標準断面図

縮尺=1:20

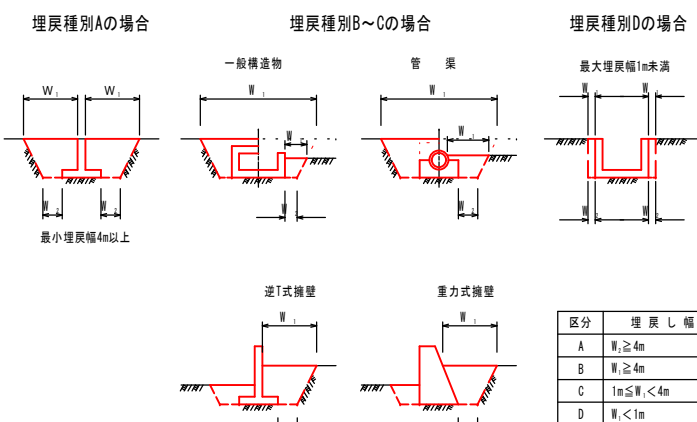
凡例

C(SE)	オープンカット
C(E)	表土剥取
C(Co)	コンクリート取壊し
C(As)	舗装版取壊し
E(SE)	床掘
Fu(SE())	埋戻(砂質土)
Fu(E())	埋戻(粘性土)
Fu(Gr)	埋戻(碎石)
K	基面整正
W(Co)1	コンクリート舗装(表層) t=10cm
W(Co)2	コンクリート舗装(路盤) t=10cm
W	張コンクリート t=10cm
H	擁壁直高

舗装剥取およびコンクリート取壊しは展開図にて表示
アスファルト舗装復旧は展開図にて表示



埋戻区分図

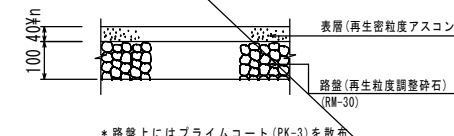


区分	埋戻し幅
A	W ₀ ≥ 4m
B	W ₀ ≥ 4m
C	1m ≤ W ₀ < 4m
D	W ₀ < 1m

舗装構成

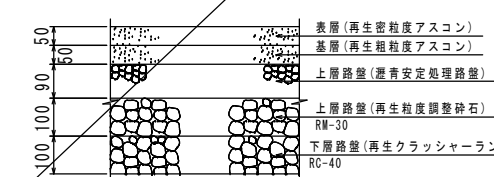
縮尺=1:10

市道舗装



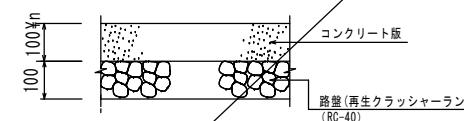
*路盤上にはプライムコート(PK-3)を散布

国道375号舗装



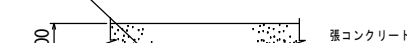
基層上にはタックコート(PK-4)を散布

コンクリート舗装



*路盤上にはプライムコート(PK-3)を散布
*収縮目地(エラストイト t=10mm)を3m間隔で設置

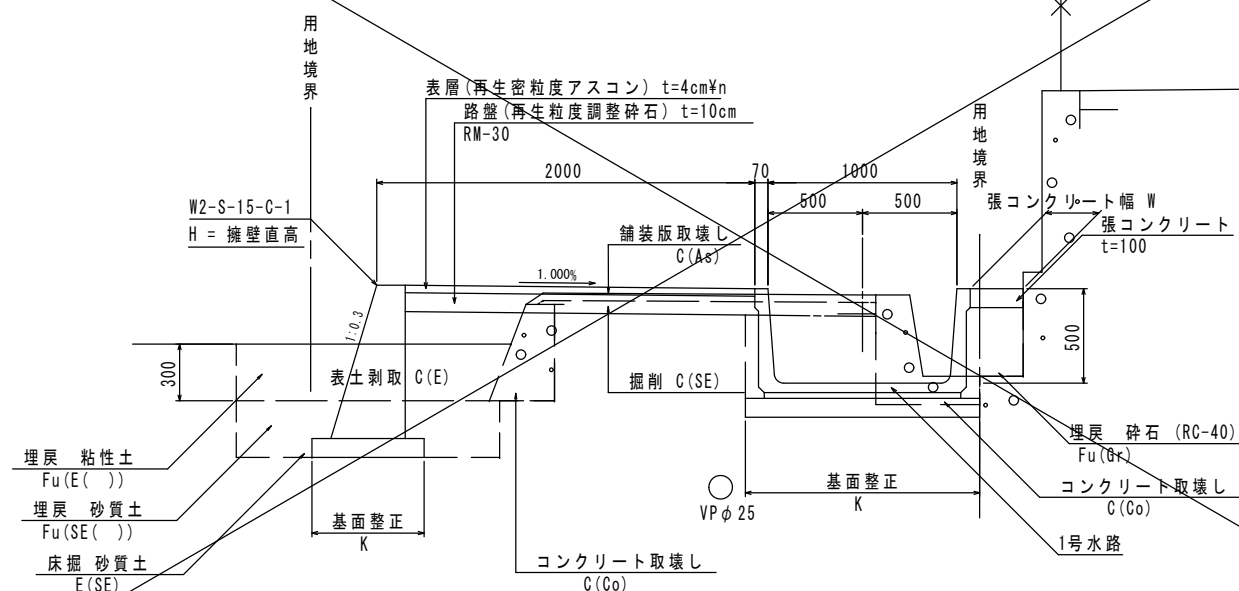
張コンクリート



*収縮目地(エラストイト t=10mm)を10m間隔で設置

舗装構成について

- ・国道375号の舗装は、現況舗装計画交通量(1,000 ≤ T < 3,000)および設計CBR12(推定値)より計画しています
- ・市道の舗装構成は、舗装計画交通量(T < 100)で簡易舗装と同等の耐久性を有していると認められる舗装構成とし、設計CBR12(推定値)として計画しています
- ・設計CBRは設計時には推定値を採用しています



図面番号	3/8	縮尺	図示
工種	河川維持修繕事業		
種別	標準断面図	番号	1/1
路線名	国近排水路		
工事箇所	東広島市黒瀬町国近		
東広島市			

D=24.800
NO. 0-24.8
GH=170.12
FH=170.120

D=20.000
NO. 0
GH=170.81
FH=170.810

D=20.000
NO. 1
GH=172.10
FH=171.051

D=6.079
NO. 2
GH=172.10
FH=171.293

D=4.979
BC4
GH=171.74
FH=171.366

D=4.979
SP4
GH=171.94
FH=171.403

D=3.963
EC4
GH=172.10
FH=171.440

D=12.800
NO. 3
GH=172.37
FH=171.470

D=7.200
NO. 3+12.8
GH=172.27
FH=171.568

C(Co) = 0.6
C(E) = 0.4
E(SE) = -1.3
Fu(SE(D)) = 1.0
Fu(E(C)) = 0.4
K = 0.8

C(Co) = 0.4
C(E) = 0.6
E(SE) = 1.6
Fu(SE(D)) = 0.8
Fu(E(C)) = 0.3
K = 0.8

C(Co) = 0.3
C(E) = 0.5
E(SE) = -1.2
Fu(SE(D)) = 0.5
Fu(E(C)) = 0.3
K = -0.7

(角フリューム500)
C(Co) = 0.2
C(E) = -0.2
E(SE) = -0.3
Fu(SE(D)) = 0.1
Fu(E(C)) = 0.6
K = -0.6

C(Co) = 0.2
C(E) = 0.5
E(SE) = 0.8
Fu(SE(D)) = 0.4
Fu(E(D)) = 0.3
K = -0.7

C(Co) = 0.3
C(E) = 0.5
E(SE) = -1.2
Fu(SE(D)) = 0.5
Fu(E(C)) = 0.3
K = 0.7

K = -0.2
W(BC0) = 0.81

K = -0.0
W(BC0) = 0.59

K = -0.0
W(BC0) = 0.61

C(Co) = 0.2
C(E) = 0.0
E(SE) = 1.7
Fu(SE(D)) = 0.7
Fu(E(D)) = 0.0
K = 0.6

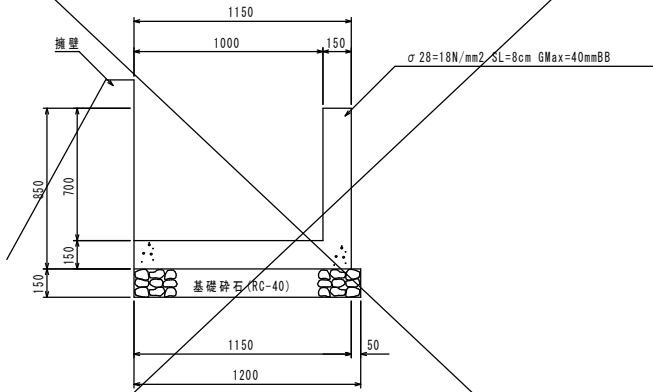
C(Co) = 0.3
C(E) = 0.6
E(SE) = 1.6
Fu(SE(D)) = 0.7
Fu(E(C)) = 0.3
K = 0.7

C(Co) = 0.3
C(E) = 0.6
E(SE) = 1.5
Fu(SE(D)) = 0.6
Fu(E(C)) = 0.3
K = 0.7

図面番号	4/8	縮尺	1:100
工程	河川維持修繕事業		
種別	横断図	番	1/4
路線名	国近排水路		
工事箇所	東広島市黒瀬町国近		
東広島市			

L型水路

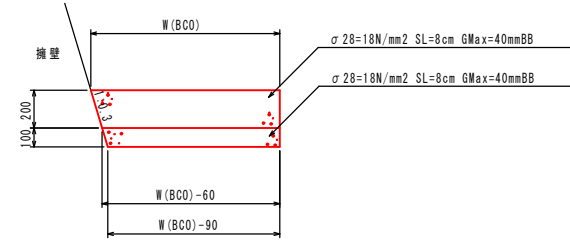
縮尺=1:20



材料表				10m当り
名称	規格寸法	単位	数量	
コンクリート	18-8-40BB	m ³	2.775	
型枠		m ²	17.00	
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m ²	12.00	

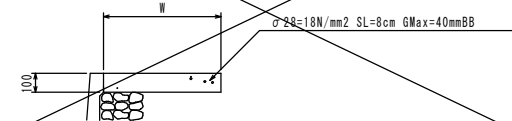
底張工

縮尺=1:20



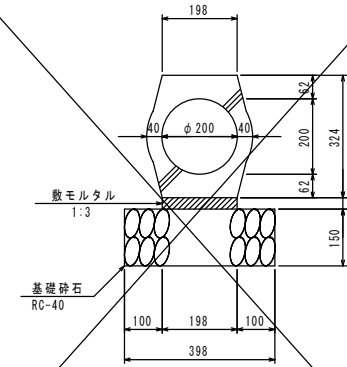
張コンクリート

縮尺=1:20



重圧管 φ200

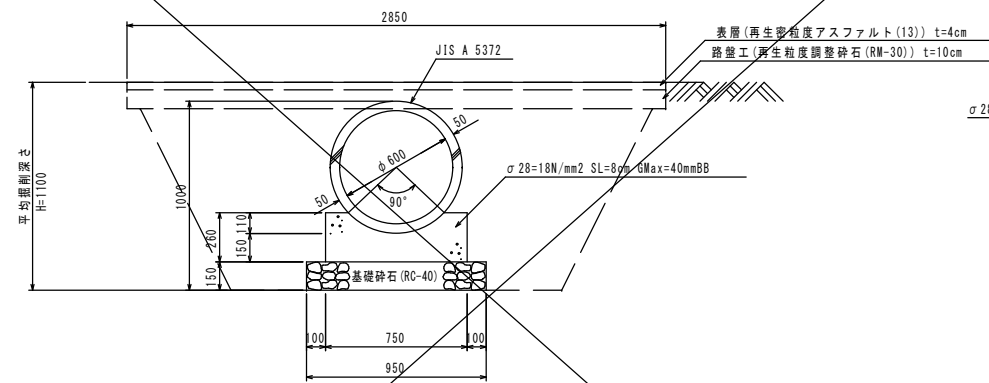
縮尺=1:10



材料表				1本当り
名称	規格寸法	単位	数量	
敷モルタル	1:3	m ³	0.059	
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m ²	3.98	
重圧管	φ200	本	5.0	

P1-RC-D600

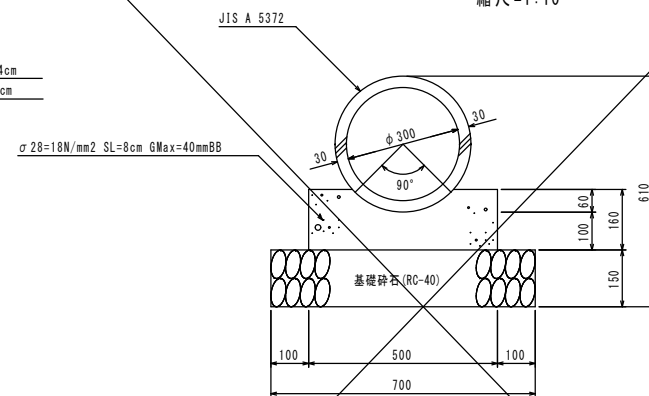
縮尺=1:20



材料表				10m当り
名称	規格寸法	単位	数量	
床掘		m ³	25.3	
埋戻	Fu(SE(C))	m ³	14.5	
基面整正		m ²	9.5	
コンクリート	18-8-40BB	m ³	1.563	
型枠		m ²	5.20	
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m ²	9.50	
ヒューム管	φ600	本	4.1	

P1-RC-D300

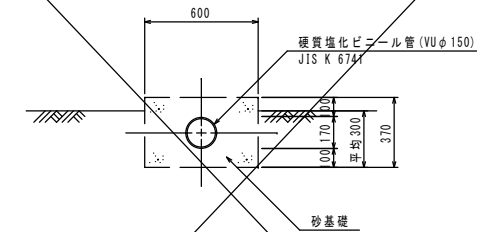
縮尺=1:10



材料表				10m当り
名称	規格寸法	単位	数量	
コンクリート	18-8-40BB	m ³	0.688	
型枠		m ²	3.20	
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m ²	7.00	
ヒューム管	φ300	本	5.0	

VUφ150
(用・排水管)

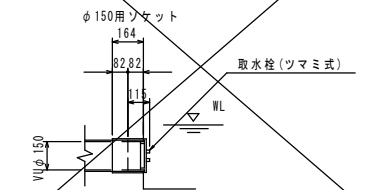
縮尺=1:20



材料表				10m当り
名称	規格寸法	単位	数量	
床掘		m ³	1.8	
埋戻		m ³	-	
基面整正		m ²	6.0	
砂基礎		m ³	2.0	
硬質強化ビニール管	VUφ150	m	10.0	

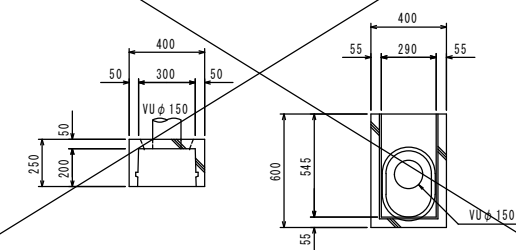
用水取水栓

縮尺=1:20



田面排水樹φn

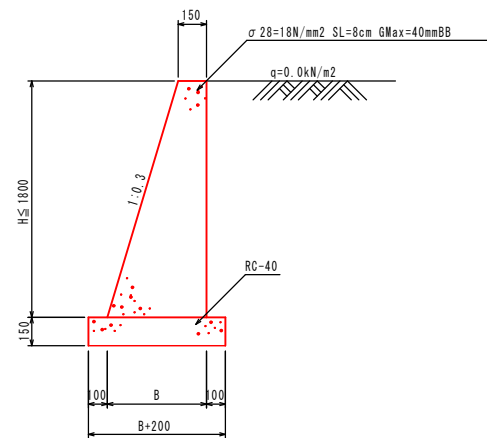
縮尺=1:20



図面番号	5/8	縮尺	図示
工種	河川維持修繕事業		
種別	構造図	番	2/8
路線名	国近排水路		
工事箇所	東広島市黒瀬町国近		
東広島市			

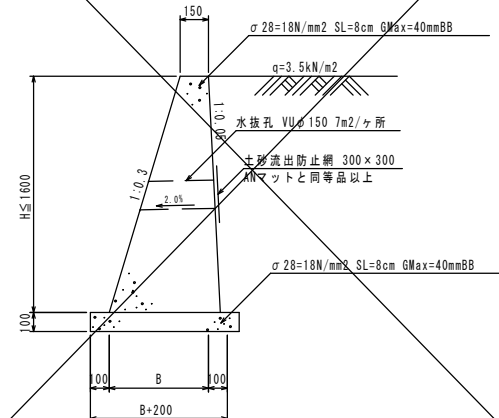
W3-S-15-C-1

縮尺=1:20



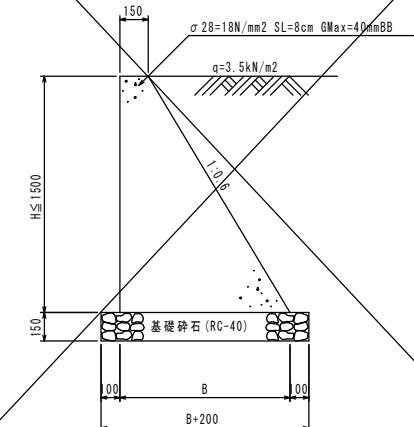
W2-S-15-C-2

縮尺=1:20



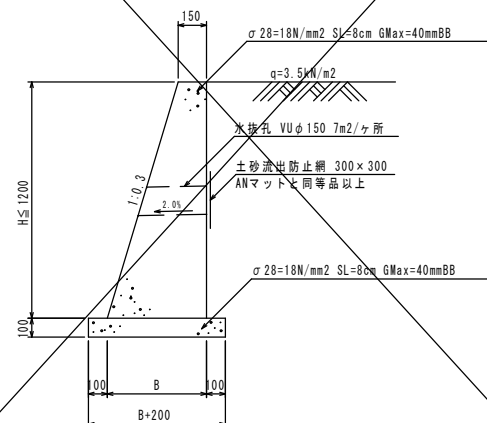
W2-S-15-A-2

縮尺=1:20



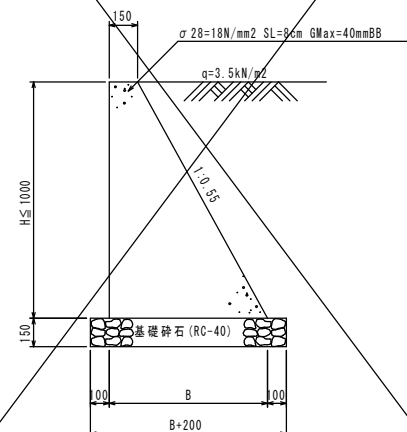
W2-S-15-C-1

縮尺=1:20



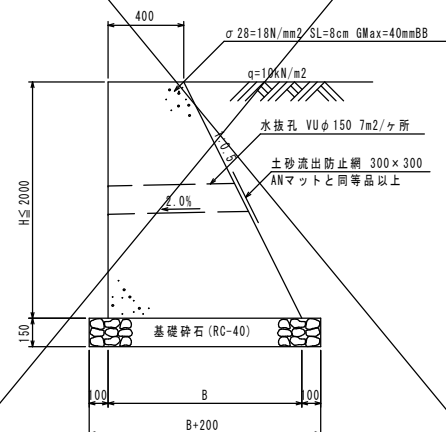
W2-S-15-A-1

縮尺=1:20



GW15

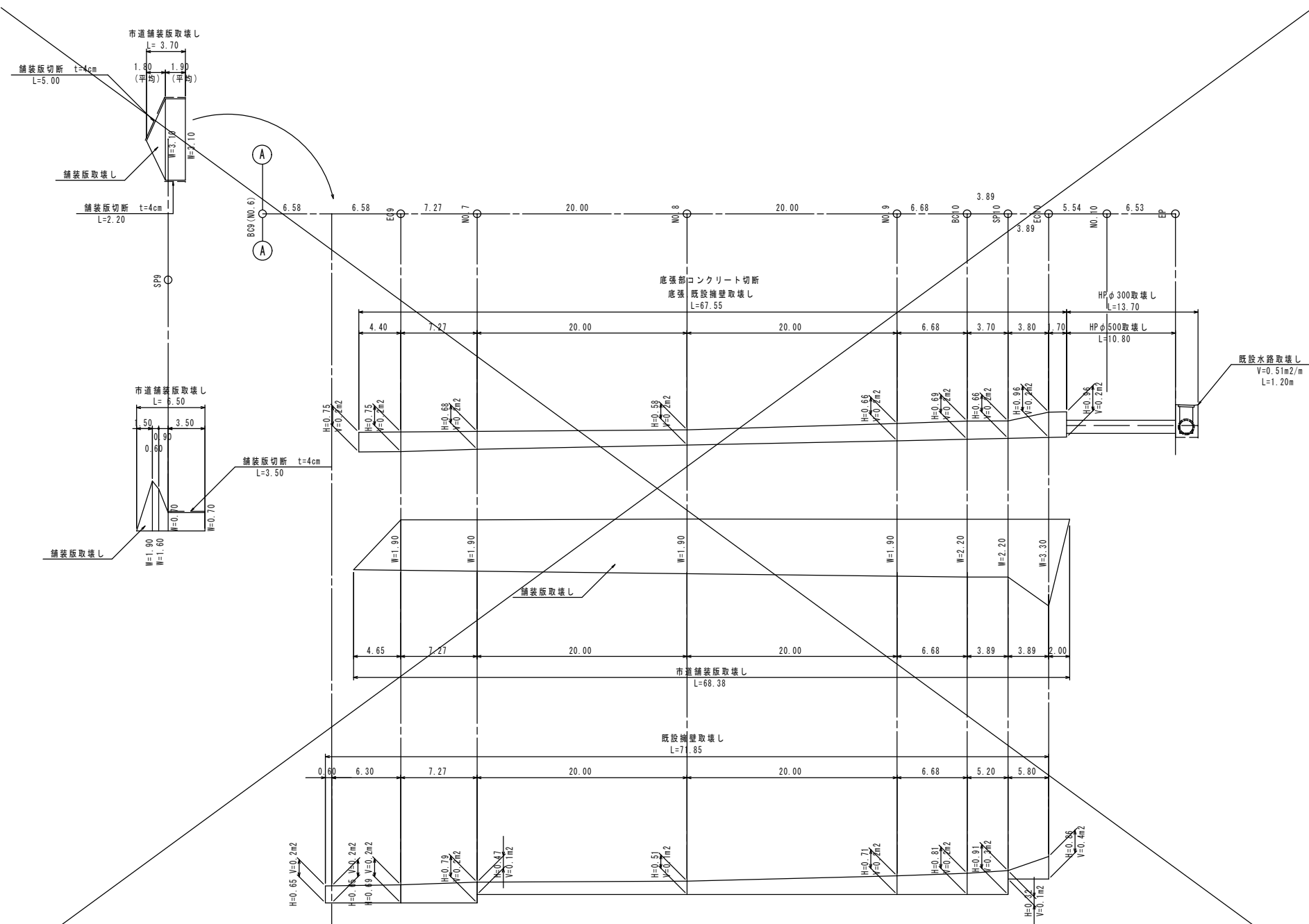
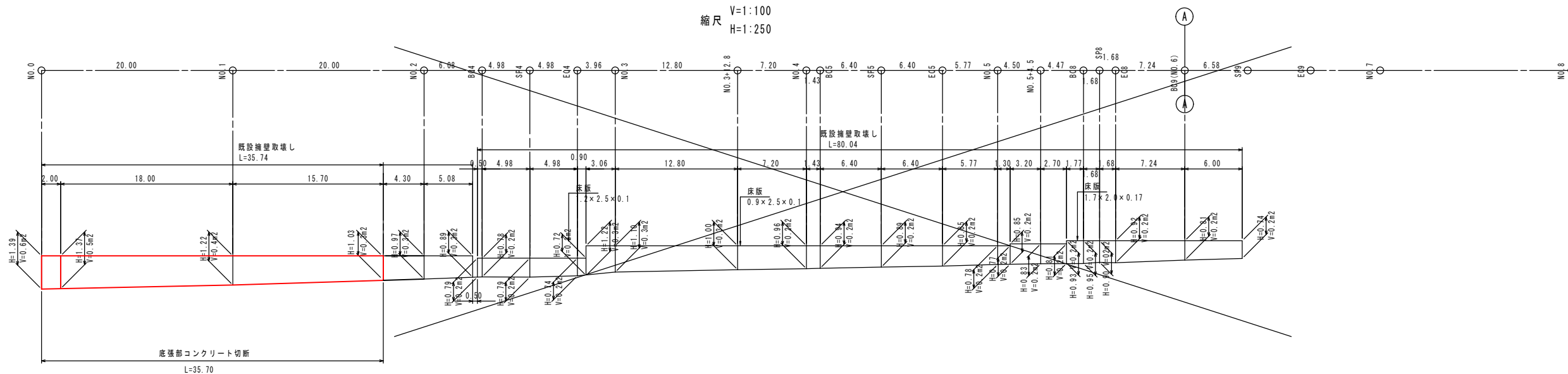
縮尺=1:20



図面番号	6 / 8	縮尺	図示
工種	河川維持修繕事業		
種別	構造図	番号	3 / 8
路線名	国近排水路		
工事箇所	東広島市黒瀬町国近		
東広島市			

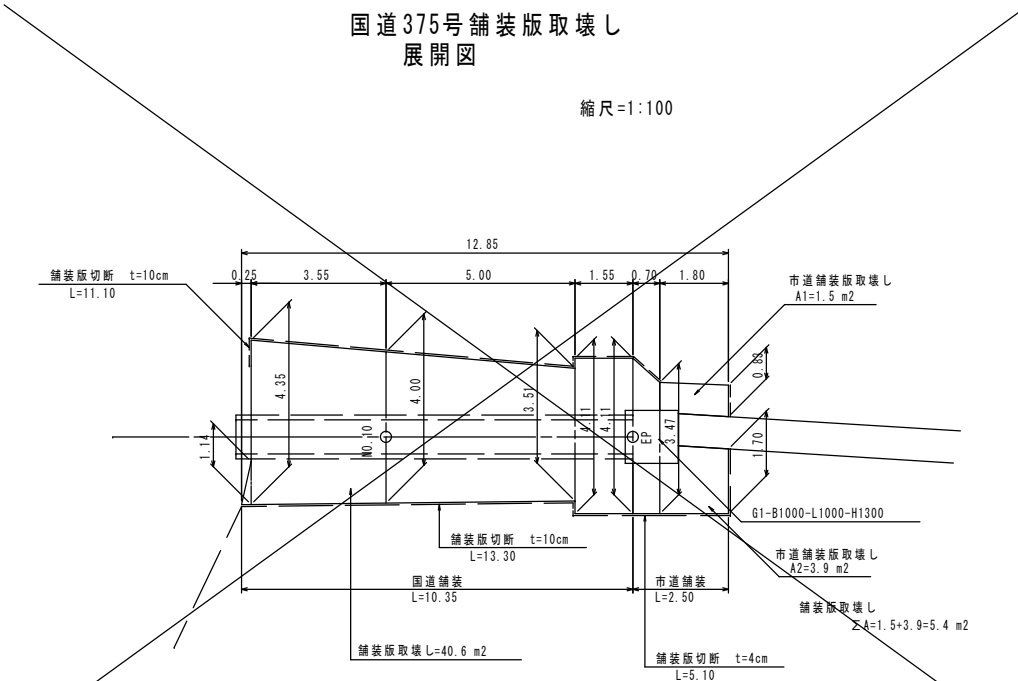
構造物取壊し展開図

縮尺 V=1:100
H=1:250



国道375号舗装版取壊し展開図

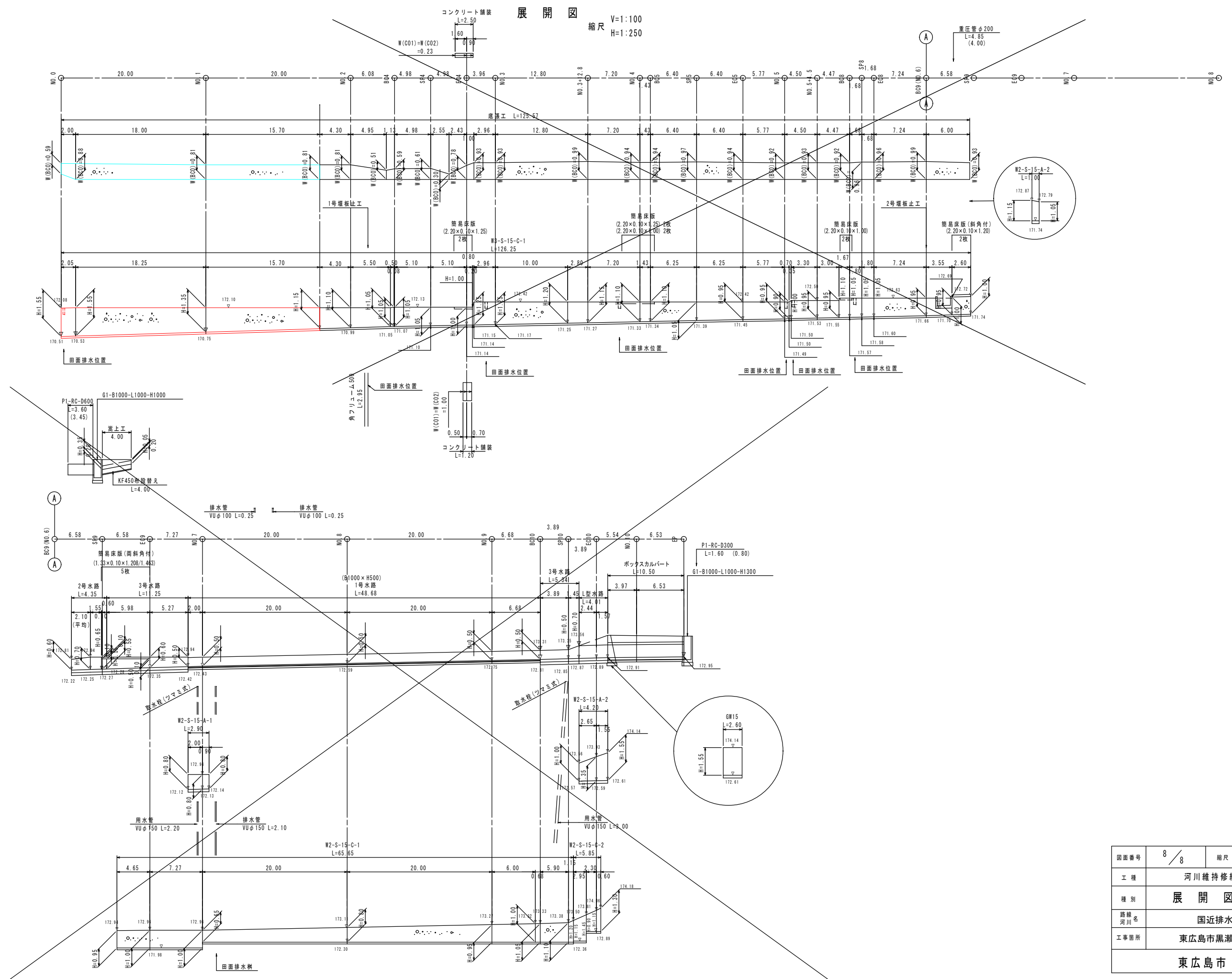
縮尺=1:100



注
取壊し面積は図測による。

図面番号	7 / 8	縮尺	V=1:100 H=1:250
工種	河川維持修繕事業		
種別	構造物取壊し展開図	番	1 / 1
路線名	国近排水路		
工事箇所	東広島市黒瀬町国近		
東広島市			

展開図 縮尺 V=1:100 H=1:250



図面番号	8 / 8	縮尺	V=1:100 H=1:250
工種	河川維持修繕事業		
種別	展開図	番号	1 / 2
路線名	国近排水路		
工事箇所	東広島市黒瀬町国近		
東広島市			

参 考 図 書

工事名称 : 令和5年度 河川維持修繕事業
国近排水路修繕工事

<注意事項>

- 1 本業務は、数量公開の対象業務です。
- 2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。
数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束を
するものではありません。
- 3 その他
 - ・当該業務により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先
一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時
たい積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
砂・砂質土・礫質土	黒瀬資源再利用センタ ー株式会社	東広島市黒瀬町大多田 302-52	7.9km
粘性土	有限会社トラスト残土 処分場	竹原市仁賀町 11559	12.8 km

- ・当該業務により発生するAs 殻、C0 殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている
施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
コンクリート殻(無筋)	光陽産業株式会社黒瀬 営業所	東広島市黒瀬町小多田 16-15	2.0km

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 45 東広島市(黒瀬) 00-05.06.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co ……コンクリート As ……アスファルト DT ……ダンプトラック BH ……バックホウ CC ……クローラクレーン TC ……トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
	当世代 01 河川工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良					Y1E01 レベル1
	1	式			
道路土工					Y1E0101 レベル2
	1	式			
掘削工					Y1E010101 レベル3
	1	式			
掘削 粘性土 標準以外					Y1E01010101 レベル4
	20	m3			
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外					SPK22040001 00
	20	m3			単第0 -0001 表
残土処理工					Y1E010110 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 砂質土					Y1E01011002 レベル4
	20	m3			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離10.0km以下(7.5km超)					SPK22040002 00
	20	m3			単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 粘性土	10	m3			Y1E01011002レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離13.0km以下(10.0km超)	10	m3			SPK22040002 00 単第0 -0003 表
残土等処分 砂・砂質土・礫質土	20	m3			Y1E01011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費 砂・砂質土・礫質土 ;黒瀬資源再利用センター(株)	20	m3			F000000100 00
残土等処分 粘性土	10	m3			Y1E01011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費 粘性土 ;(有)トラスト残土処分場	10	m3			F000000200 00
擁壁工	1	式			Y1E0106 レベル2

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
作業土工					Y1E010601 レベル3
	1	式			
床掘り 土砂					Y1E01060102 レベル4
	50	m3			
床掘り 土砂 上記以外(小規模)					SPK22040015 00
	50	m3			単第0 -0004 表
埋戻し 土砂					Y1E01060103 レベル4
	40	m3			
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)					SPK22040020 00
	40	m3			単第0 -0005 表
場所打擁壁工 W3-S-15-C-1					Y1E010606 レベル3
	1	式			
基礎材 t=15cm RC-40					Y1E01060601 レベル4
	28	m2			
基礎砕石 砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 RC-40					SPK22040034 00
	28	m2			単第0 -0006 表
コンクリート 18-8-40BB 一般養生					Y1E01060603 レベル4
	18	m3			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート(場所打擁壁) 18-8-40BB 一般養生	18	m3			SPK22040067 00 単第0 -0007 表
型枠 一般型枠	100	m2			Y1E01060605 レベル4
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	100	m2			SPK22040146 00 単第0 -0008 表
止水板 センターバルブ型フラット 200*5mm	4	m			Y1E01060608 レベル4
止水板-塩ビ製- CF(センターバルブ形フラット) 幅200mm,厚5mm	4	m			TTPC00198 00
排水構造物工	1	式			Y1E0109 レベル2
場所打水路工	1	式			Y1E010907 レベル3
現場打水路(底張工) 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB	36	m			Y1E01090701 レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックハウ(クレーン機能付)打設	9	m3			SPK22040144 00 単第0 -0009 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
止水板 センターバルブ型フラット 200*5mm	2	m			Y1E01060608 レベル4
止水板-塩ビ製- CF(センターバルブ形フラット) 幅200mm,厚5mm	2	m			TTPC00198 00
構造物撤去工	1	式			Y1E0112 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206 レベル3
コンクリート構造物取壊し 無筋構造物,機械施工	15	m3			Y1E01120601 レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	15	m3			SDT00031 00 単第0 -0010 表
コンクリート切断 コンクリート,厚15cm以下	36	m			Y1E01120602 レベル4
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	36	m			SPK22040303 00 単第0 -0011 表
運搬処理工	1	式			Y1E011216 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし	15	m3			Y1E01121601 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離3.3km以下(1.6km超)	15	m3			SPK22040142 00 単第0 -0012 表
殻処分 Co(無筋)構造物とりこわし	35	t			Y1E01121602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻処分費 (無筋) ;光陽産業(株)黒瀬営業所	35	t			F000000400 00
仮設工	1	式			Y1A0115 レベル2
交通管理工	1	式			Y3999 レベル3
交通誘導警備員	10	人			Y4999 レベル4
交通誘導警備員B	10	人			R0369 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水替工	1	式			Y3999 レベル3
ポンプ設置・撤去	1	箇所			Y4999 レベル4
ポンプ設置・撤去	1	箇所			SHD10037 00
ポンプ運転	13	日			Y4999 レベル4 単第0 -0013 表
ポンプ運転 排水量 40以上120未満 (m3/h) 常時排水	13	日			S1050031 00 単第0 -0015 表
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					

施工単価表

掘削

SPK22040001

単第0 -0001 表

土砂 上記以外(小規模)

標準以外

1

m3 当り

機械構成比: 22.76%

労務構成比:

69.45%

材料構成比:

7.79%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,362.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	22.76%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	69.45%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.79%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 F=8 標準以外			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

土砂等運搬

SPK22040002

単第0 -0002 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離10.0km以下(7.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 25.82% 労務構成比:

62.21% 材料構成比: 11.97%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,611.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	25.82%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	62.21%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.97%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=40 距離10.0km以下(7.5km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

土砂等運搬

SPK22040002

単第0 -0003 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離13.0km以下(10.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 25.82% 労務構成比:

62.21% 材料構成比: 11.97%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,937.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	25.82%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	62.21%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.97%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=46 距離13.0km以下(10.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

床掘り

SPK22040015

単第0 -0004 表

土砂 上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 21.91%

労務構成比: 70.90%

材料構成比: 7.19%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,000.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	21.91%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	38.51%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	32.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.19%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し

SPK22040020

単第0 -0005 表

土砂

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 10.54%

労務構成比: 85.61%

材料構成比: 3.85%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,539.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	9.89%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.65%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	48.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.39%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.37%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.24%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.61%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂		

施工単価表

基礎砕石

SPK22040034

単第0 -0006 表

砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.69% 労務構成比: 71.36%

材料構成比: 22.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,181.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	5.66%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	34.25%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.84%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.43%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.35%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	18.28%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.64%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

コンクリート(場所打擁壁)

SPK22040067

単第0 -0007 表

18-8-40BB

一般養生

1

m3 当り

機械構成比: 3.38%

労務構成比:

15.33%

材料構成比: 81.29%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

19,090.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m3/h	3.32%		コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m3/h		MTPC00050 MTPT00050
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	7.46%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.97%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.67%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	1.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	80.73%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.55%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

型枠

SPK22040146

単第0 -0008 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,707.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	47.44%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	24.80%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.07%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

コンクリート

SPK22040144

単第0 -0009 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.44%

労務構成比:

37.63%

材料構成比:

57.93%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

28,884.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.19%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.11%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.09%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.32%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.99%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.83%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0025

舗装版切断

SPK22040303

単第0 -0011 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 5.01%

労務構成比:

44.29%

材料構成比: 50.70%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,074.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	3.39%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	15.33%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	6.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	48.42%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.54%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

殻運搬

SPK22040142

単第0 -0012 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離3.3km以下(1.6km超)

1

m3 当り

機械構成比: 43.25% 労務構成比:

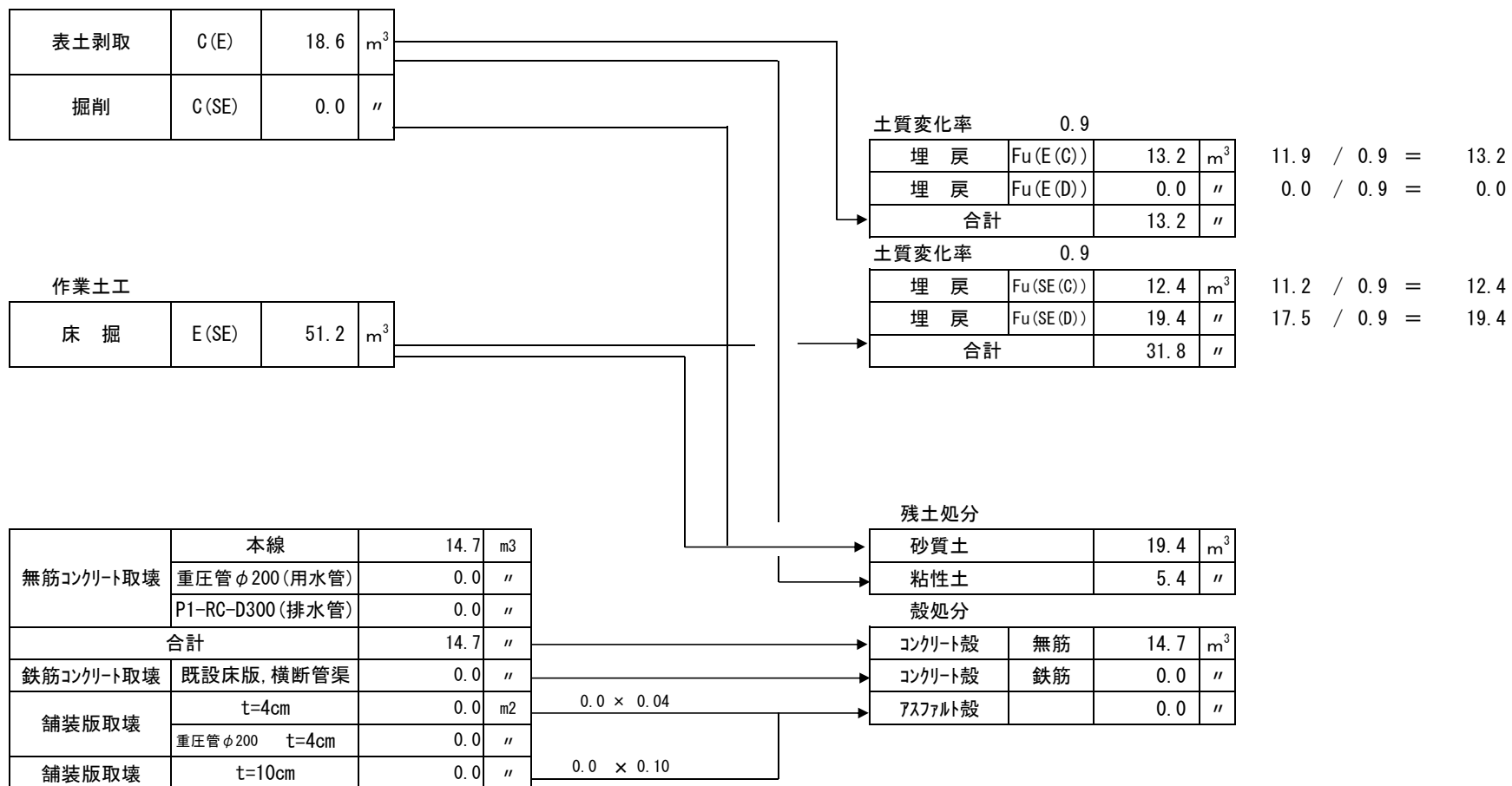
42.18% 材料構成比: 14.57% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,010.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.57%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=14 運搬距離3.3km以下(1.6km超)		

土 工 配 分 表



作業土工集計表

名 称	延長・ヶ所	床掘		埋戻Fu(SE(C))		埋戻Fu(SE(D))		埋戻Fu(E(C))		埋戻Fu(E(D))		基面整正	
		単位数量	数量	単位数量	数量	単位数量	数量	単位数量	数量	単位数量	数量	単位数量	数量
擁壁工													
左岸擁壁工	—	—	51.2	—	11.2	—	17.5	—	11.9	—	0.0	—	28.0
合計			51.2		11.2		17.5		11.9		0.0		28.0

